

今年の標識調査は6月いっぱいまで終了しました。今年の雛の数は昨年より少なく、総数は29羽でした。しかし新しい生息地が4ヶ所も見つかり、これは大成果です。個々の番いにおいて毎年産卵しても孵化しない年があります。また隔年、数年ごとの産卵の番いにも当然同じようなことは起こります。生息地の激変がなく番い数に変動がなければ雛の数はあまり気にすることはありません。増えた生息地から生れた雛が分散して、新しい生息地があっちの一つ、こっちの一つと広がっていくことが重要なのです。

今回は会報17号でも卵について書いていますが、他種を含めて卵の体重比の説明をしたいと思います。

写真は6種類のフクロウ類のものです。すべて白色無斑で球形に近い形をしています。卵は鳥類全般に身体が小さくなれば卵の体重比は大きくなります（例外キークウィは体重2kgで卵は500g 体重比25%）。スズメフクロウは体重60gで卵は8g、体重比は13%です。フクロウは体重500g、卵は45g、体重比9%。シマフクロウは体重4.0kgで、卵は重いもので100g、体重比2%になります。スズメフクロウと同じ比率でシマフクロウが産めば、キークウィ位の大きさの卵を

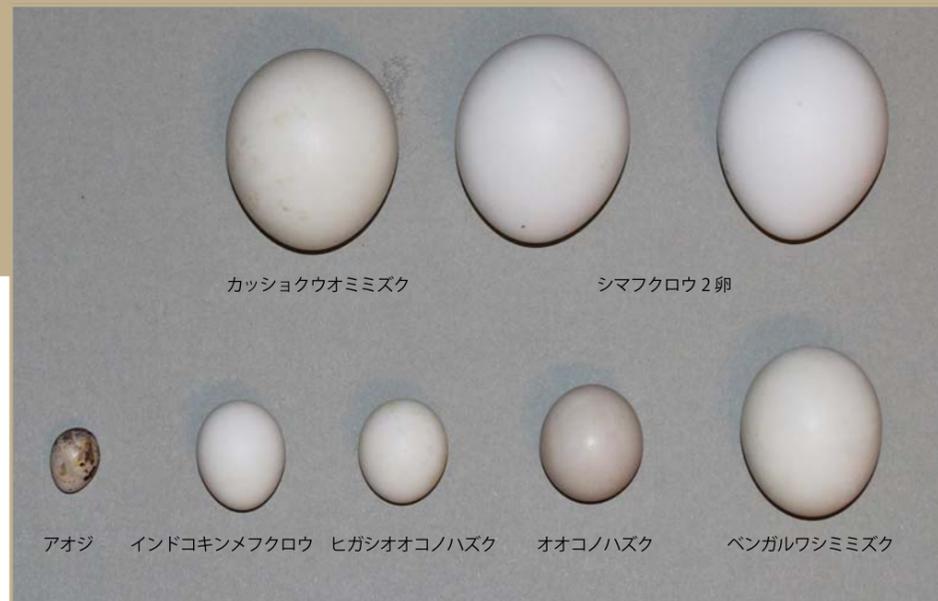
産まなければなりません。これは飛ぶ鳥には出来ないことです。

また、卵形係数=短径÷長径×100この数字が大きくなるほど卵は球形に近くなります。老化によって、卵は細長くなりやすいと言われていますが、フクロウ類において若い個体でも楕円形の卵を産みますから一概に老化とは言えないと思います。卵の形や体重は個体差が多分にあります。写真の卵は飼育下で孵化しなかったものです。野生の卵ではありません。

●標識調査

＝幼鳥を巣立ち前後時に捕まえて個体識別用の足環を装着／その他各部測定／健康診断

	体重	卵重
アオジ	20g	2g
インドコキンメフクロウ	120g	17g
ヒガシオオコノハズク	130g	16g
オオコノハズク	140g	18g
ベンガルワシミミズク	1200g	50g
カッシュクウオミミズク	1500g	80g
シマフクロウ	3400g～4500g	89g～104g



●賛助会員・寄付を募集しています

当会の活動趣旨にご賛同いただける法人・個人の皆さまの賛助会員としての参加と、寄付を募集しています。

ホームページからも手続きが可能となっておりますので、ぜひご覧ください。

令和2年8月24日付で当会は「認定NPO法人」の認定を受けましたので、当会に対する寄付金・賛助会費は税制上の優遇措置を受けられます。（当会ホームページのお知らせをご参照ください）

【認定NPO法人北海道シマフクロウの会 事務局】（担当：米谷・久保木）

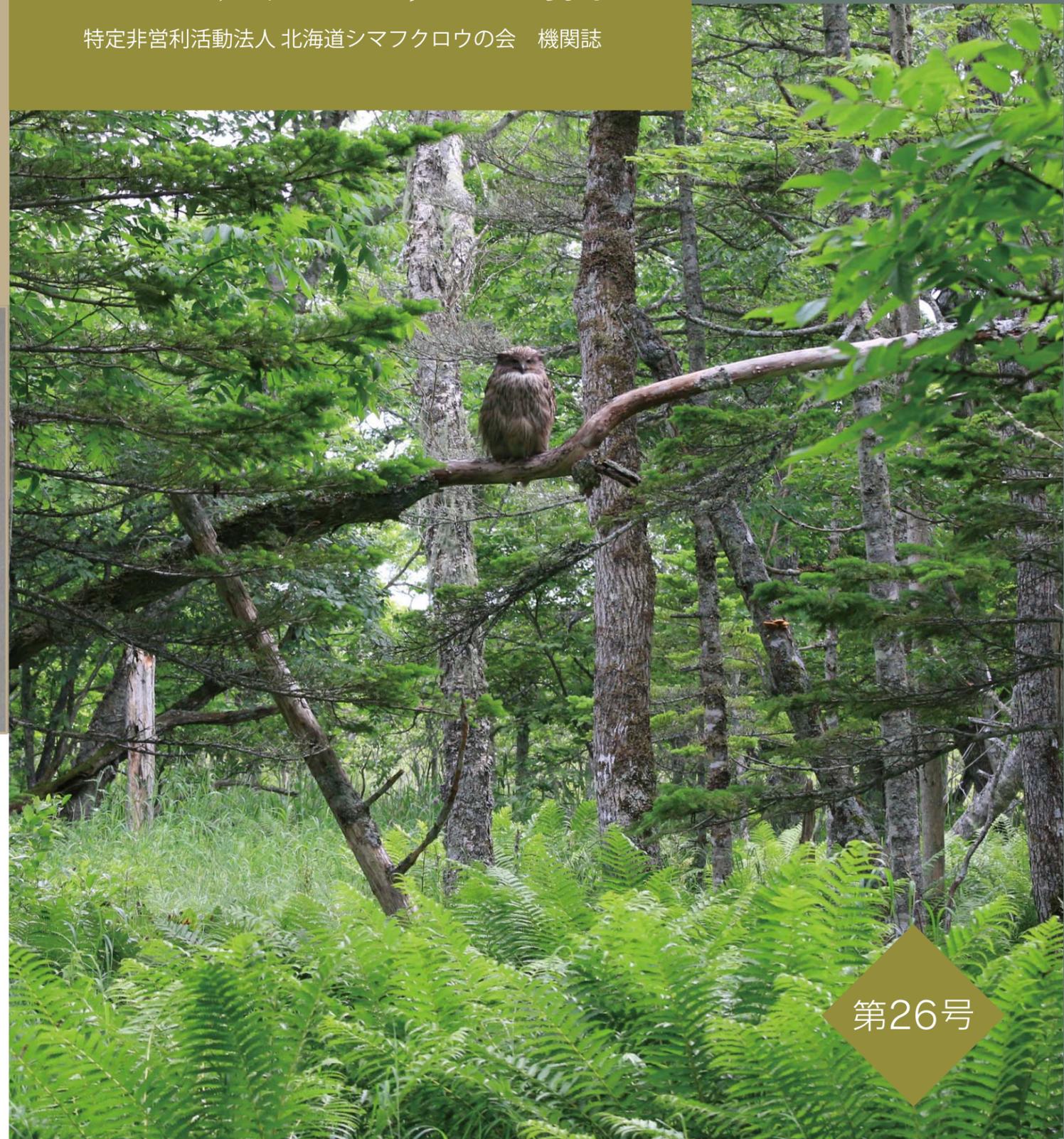
〒060-8640 札幌市中央区大通西3丁目11番地 北洋ビル6階 （株）北海道二十一世紀総合研究所内

TEL 011-231-8681 FAX 011-231-8683

URL: <http://hokkaido-shimafukurou.org/> E-mail: [info@hokkaido-shimafukurou.org](mailto:info@hokkaido-shimafukurou.org)

# 北海道 シマフクロウ通信

特定非営利活動法人 北海道シマフクロウの会 機関誌





## 令和2年度通常総会（書面開催）について

NPO法人北海道シマフクロウの会 事務局

令和2年度の当会通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況により書面にて開催いたしました（通常総会は18名の正会員により構成されています）。

令和元年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度第2期事業報告・決算および令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度第3期事業計画・予算について書面にてご審議いただき、異議なく可決されました。

議案内容の要旨は次のとおりです（詳細は当会ホームページに掲載しています）。

### 令和元年度事業報告

- 第1回シマフクロウ保護活動支援金贈呈式の開催／シマフクロウの保護活動に尽力されている6名の方への助成金贈呈／記念講演及びパネルディスカッションの開催（令和2年2月18日：60名参加）
- クラウドファンディング方式による寄付金の募集実施（令和元年7月4日～8月31日）

### 令和2年度事業計画

- 講演会、学習会開催／年1回程度予定
- 会報発行／年3回発行予定、公共施設、

イベント等で配布

- WEBサイトでの発信／ホームページ等での活動広報、情報発信
- シマフクロウの保護等に携わる方々への支援／シマフクロウの保護活動など生物多様性保全に取り組む団体・個人へ助成金を通じた支援実施
- シマフクロウ保護に関する啓発を兼ねた支援助成金原資募集のためのクラウドファンディングの実施

### 令和元年度決算

● 収益		
受取会費・寄付金等	4,426千円	（正会員賛助会員会費・寄付金・クラウドファンディングほか）
事業費：	2,529千円	（助成金贈呈・講演・会報発行など）
管理費：	679千円	（事務局事務委託・ホームページ管理など）
● 期末正味財産	4,592千円	（次期繰越正味財産額）

### 令和2年度活動予算

● 収益		
受取会費・寄付金等	3,280千円	（正会員賛助会員会費・寄付金・クラウドファンディングほか）
事業費：	2,860千円	（上記事業計画関連予算）
管理費：	770千円	（事務局事務委託ほか）
● 期末正味財産	4,242千円	（次期繰越正味財産額）



## 認定NPO法人の資格取得と当面の活動について

NPO法人北海道シマフクロウの会理事長 横内 龍三



「北海道シマフクロウの会」は、2019年2月にそれまでの任意団体からNPO法人へと装いを改めましたが、今般、2020年8月24日付をもって、所轄庁である札幌市から「認定NPO法人」の資格を認定されました。認定NPO法人とは、NPO法人のうち、特に公益性が高く、運営組織や事業活動が適正である（運営組織、経理、活動内容、情報公開など9つの認定基準をクリアする要）と

所轄庁が認めたNPO法人のことです。認定NPO法人になりますと、個人あるいは法人が当該NPO法人に寄付をした場合、寄付金控除や損金算入限度額の枠の拡大など税制優遇措置が受けられます。本制度は、NPO法人への寄付を促すことによりNPO法人の活動を支援するために税制上設けられた措置です。具体的には、今後当会に寄付をしてくださった方に対して、当会から「寄付金受領証明書」が送付されますので、寄付をされた方は、本証明書を添付して税務署に所要の手続きをしていただくことになります。本件認定により、当会に対する寄付が行いやすくなりますので、当会の今後の財政基盤の拡充に大いに資するものと期待されることです。

ところで、新型コロナウイルス騒ぎが、なかなか終息を見ない状況の下、この間、当会の活動にも何かと制約が生じております。理事会、総会などの諸会合や講演会の開催なども自粛せざるを得ない事態

となりました。当会といたしましては、引続きHPや会報の活用などにより、シマフクロウに関する情報の発信に努めて参る所存です。

また、本年度も昨年度に続き、シマフクロウの保護、研究に従事されている方々に対して活動資金の援助を行うことといたします。このため、本年も8月から9月にかけてクラウドファンディング方式による寄付の募集（本稿執筆時点の9月2日現在、既に目標額50万円を上回る応募額を達成）を行っております。

なお、本件認定NPO法人の資格取得やクラウドファンディングの実施など当会事務局の事務負担が急増しております。こうした事務がこれまで円滑に処理されて参りましたのは、偏に当会の事務局を委託しております「北海道二十一世紀総合研究所」、就中、米谷、久保木両氏のご尽力の賜物です。当会を代表いたしまして、心からの感謝と御礼を申し上げます。

## 第2回クラウドファンディングについてのご報告

事務局まとめ



シマフクロウの保護活動に携わっておられる方々に対する支援強化を図る観点から、昨年7月に初めてクラウドファンディング方式によるご寄付の募集を行い、目標を上回るご支援を賜りました。本年2月には、このご寄付を基にシマフクロウの保護活動に直接携わっておられる6名の方々に総額150万円の助成をさせていただきました。

当会では、本年も引き続きシマフクロ

ウの保護活動に取り組んでいらっしゃる皆様への支援を継続的・安定的に行っていくため、昨年と同様、7月20日から、北海道新聞様のご協力の下に、2回目のクラウドファンディング方式によるご寄付の募集を実施いたしました。多くの皆様のご賛同をいただき、目標金額を達成することができました。お寄せいただいたご支援に深く感謝申し上げます。今後、諸手続きを経て、集まりました寄

付金の助成先、金額等を決定し、対応を進めてまいります。またその内容につきまして、ホームページ等を通じ皆様にも改めてご報告させていただきます。

### ● 第2回クラウドファンディングの実績

（令和2年9月2日現在）

- 目標額 500千円
  - 実績 560千円
- （39口 37名 達成率112%）